

Creators of SOLAN

生活科で秋を探究！

先週、窯神社に秋を見つけに行きました。その活動をもとに、秋を探究する授業に取り組みました。まず、英語の生活科でマイク先生が「さわる！」という行為を通して自分たちが見つけたものをあてます。ミステリーボックスの中に入っているものは何か？自分の手に伝わる感触をたよりに当てていきます。「どんぐり！」「かれは！」と子どもたちは次々に当てていきます。さすがです。その次の時間は日本語での生活科。この活動を受けて、今度は問いを見出していきます。

「自分が五感を通して感じた秋で不思議だなと思ったことは？」という発問にたくさんの問いが出されました。「問い1：なぜ、葉っぱの色が変わるのか？」「問い2：「なぜ、実ができるの？」「問い4：なぜ、どんぐりのぼうしができるの？」「問い5：秋と自然の関係は？」の5つの問いが生まれました。それぞれについて、自分の関心のある問いをnhk for Schoolの生活科や理科の番組の動画クリップを使って調べていきました。「先生！わかったよ。葉っぱの色が変わるのは気温が変わるからだよ」「それだけじゃない



よ。葉っぱには葉緑体というみどりのつぶがあるんだって。それが赤に変わるんだって」と意欲的に解を見つけていきます。生活科の学習内容は超えています。新しい知識を自分たちで見つけていく喜びこそ学びたい！を引き出す原動力になるのではないのでしょうか。教師も子どもと一緒に調べて、いろいろな発見をすることができました。学んで、本当に楽しい！と実感しました。



国語の授業で「いきものずかん」を制作！

国語の「うみの かくれんぼ」の学習で学んだことを活用して自分たちの「いきものずかん」を制作しました。自分の紹介したい生き物のかくれかたを調べて、絵と文で説明します。国語の教材文で、「場所—特徴—かくれ方」の順序で書くことを学び、この文の構造をモデルに、自分たちも調べたことを整理し、文にまとめていきます。「完成したら、アレキサンドリアにおいてもらって、みんなにみてもらいな！」という願いをもち、制作活動に取り組みました。今回は、手書きです。文字を書くことが苦手な子どもも、丁寧に字を書く努力をしていました。毎週、土日に課題として日記があります。すでに3冊目の日記帳に突入した子どももいます。日記を書き続ける活動を通して、書くことに慣れることもあります。自分の思いや考えを伝える楽しさや喜びを感じてほしいと思っています。

